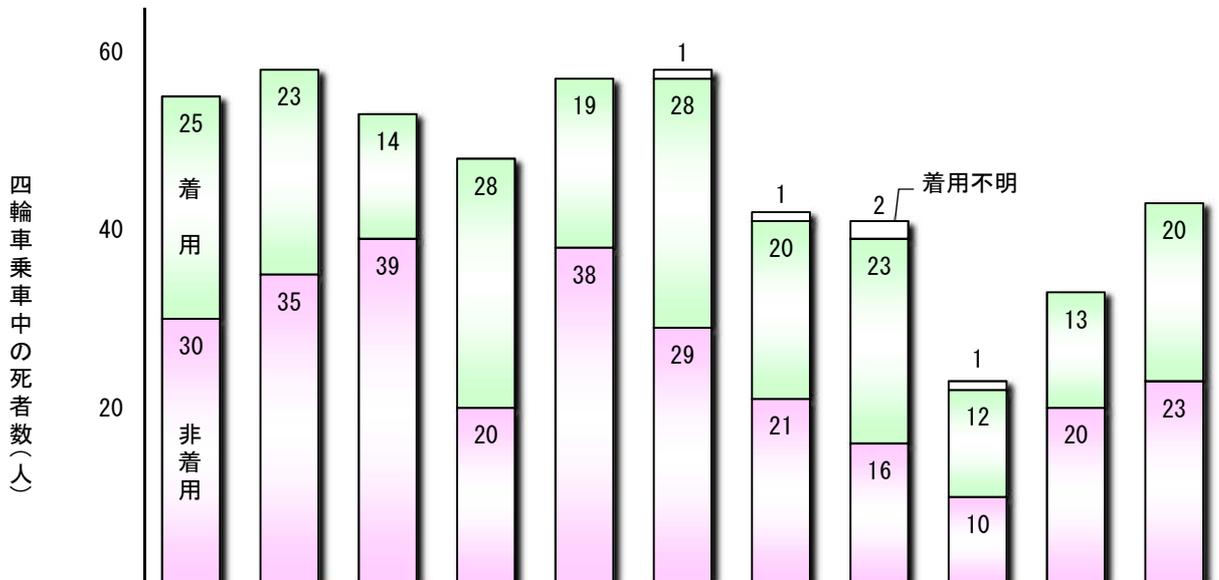
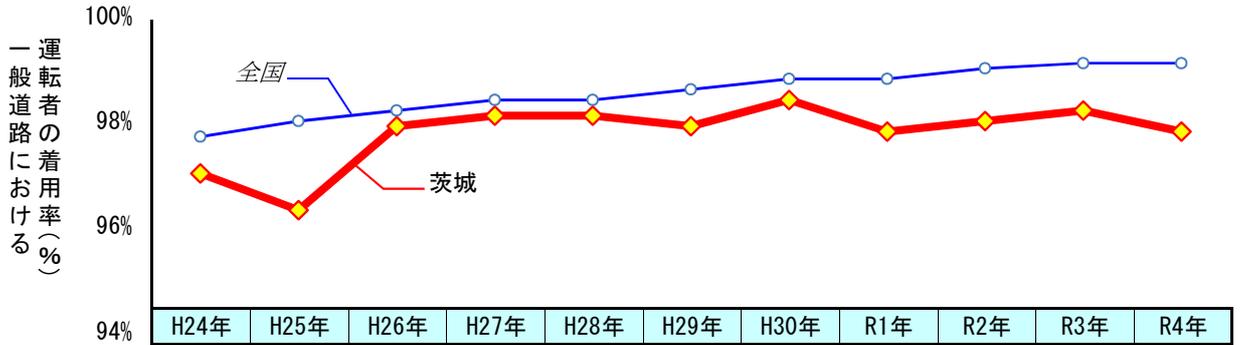


# 第9 シートベルトの着用状況

## 1 死者の着用状況の推移(平成24年～令和4年)

令和4年の一般道路におけるシートベルト着用状況(着用率)は、運転者97.8%、助手席92.1%、後部座席34.7%で、いずれも全国平均を下回っており、運転者着用率の全国順位は、全国第46位(ワースト順では第2位)、助手席着用率は全国第45位(ワースト順では第3位)となっています。

シートベルト非着用の死者数は増減を繰り返して推移、平成29年から4年連続で減少後、令和3年から2年連続で増加しています。



		H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
着用	死者数	25	23	14	28	19	28	20	23	12	13	20
	構成率(%)	45.5	39.7	26.4	58.3	33.3	48.3	47.6	56.1	52.2	39.4	46.5
非着用	死者数	30	35	39	20	38	29	21	16	10	20	23
	構成率(%)	54.5	60.3	73.6	41.7	66.7	50.0	50.0	39.0	43.5	60.6	53.5
着用不明	死者数	-	-	-	-	-	1	1	2	1	-	-
死者数合計		55	58	53	48	57	58	42	41	23	33	43
運転者着用率	茨城(%)	97.0	96.3	97.9	98.1	98.1	97.9	98.4	97.8	98.0	98.2	97.8
	全国順位	37位	46位	29位	32位	38位	41位	37位	45位	44位	45位	46位
	全国平均(%)	97.7	98.0	98.2	98.4	98.4	98.6	98.8	98.8	99.0	99.1	99.1
助手席着用率	茨城(%)	90.4	89.0	90.7	93.2	88.7	93.7	92.4	92.3	92.1	88.8	92.1
	全国平均(%)	93.2	93.9	93.9	94.6	94.9	95.2	95.9	95.9	96.5	96.7	96.9
後部座席着用率	茨城(%)	29.1	30.7	33.5	31.9	30.3	30.2	27.9	35.8	31.5	37.7	34.7
	全国平均(%)	33.2	35.1	35.1	35.1	36.0	36.4	38.0	39.2	40.3	42.9	42.9

※1 「死者数」とは、小型特殊車等を含む四輪車乗車中の全ての死者をいい、同乗者を含む。

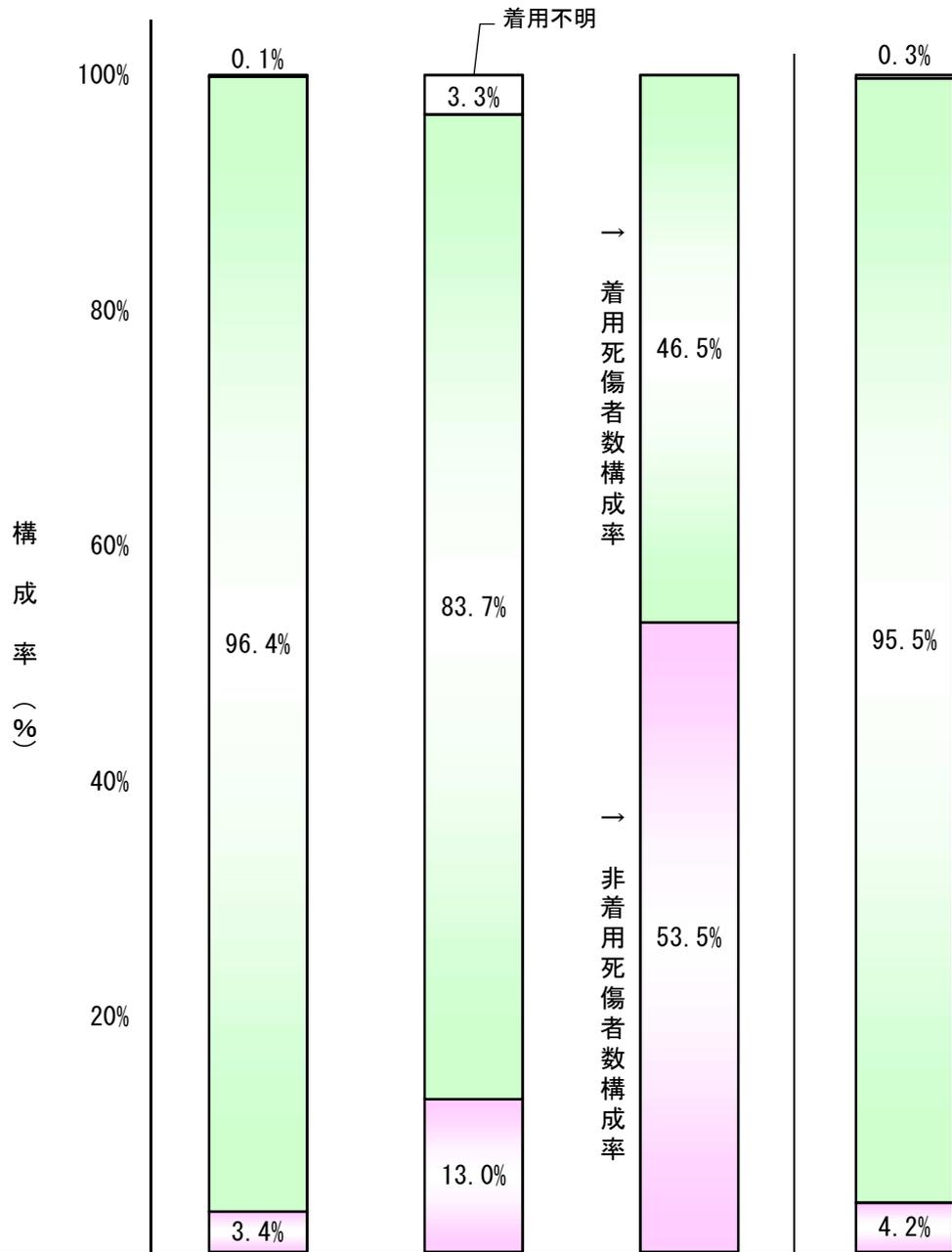
※2 「着用率」は一般道路における調査結果で、JAF(日本自動車連盟)と警察の合同調査。表内の「全国順位」は、着用率の高い順とした。

※3 後部座席シートベルト着用義務化の法施行は、平成20年6月である。

※4 シートベルト着用状況の統計開始は、平成2年である。

## 2 損傷の程度別着用状況

損傷程度が重くなるほど、シートベルト非着用者の構成率が高くなっています。

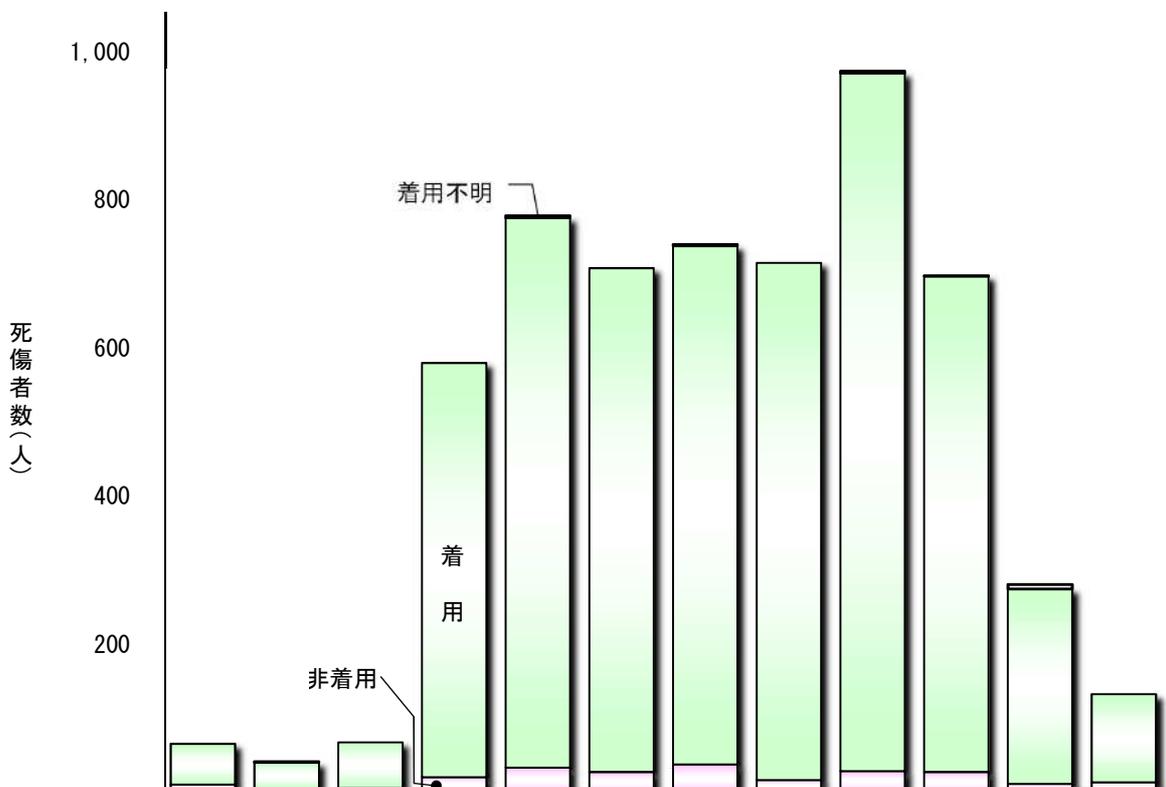
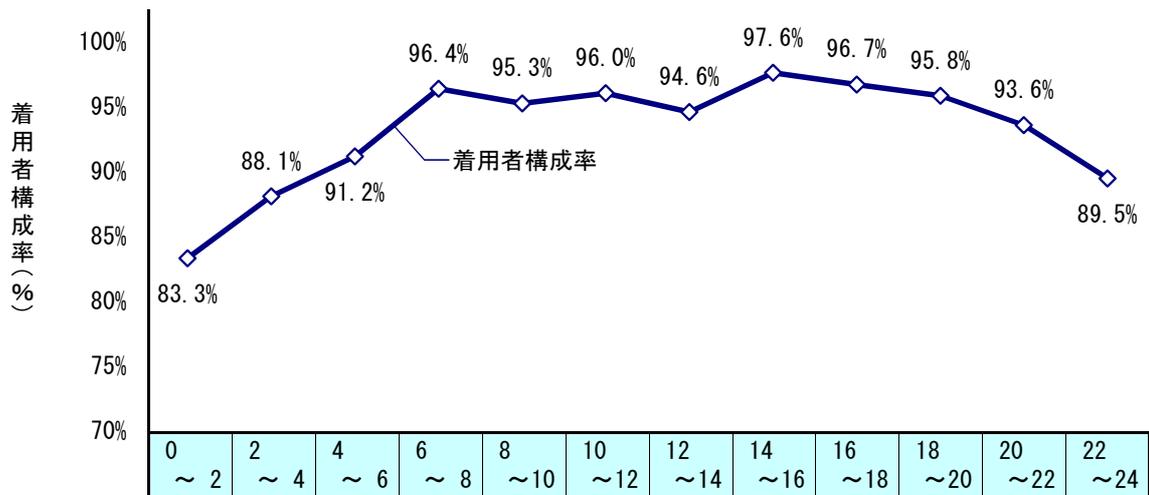


		軽傷者数	重傷者数	死者数	合計 (平均)
着用	死傷者数	5,306	200	20	5,526
	構成率 (%)	96.4	83.7	46.5	95.5
非着用	死傷者数	188	31	23	242
	構成率 (%)	3.4	13.0	53.5	4.2
着用不明	死傷者数	8	8		16
	構成率 (%)	0.1	3.3		0.3
死傷者合計		5,502	239	43	5,784

※ 「死傷者数」とは、小型特殊車等を含む四輪車乗車中の全ての死傷者をいい、同乗者を含む。

### 3 時間別着用状況

シートベルトの「着用者構成率」は「0～2時」が最も低く、他に「2～4時」、「22～24時」が90%未満と低くなっています。

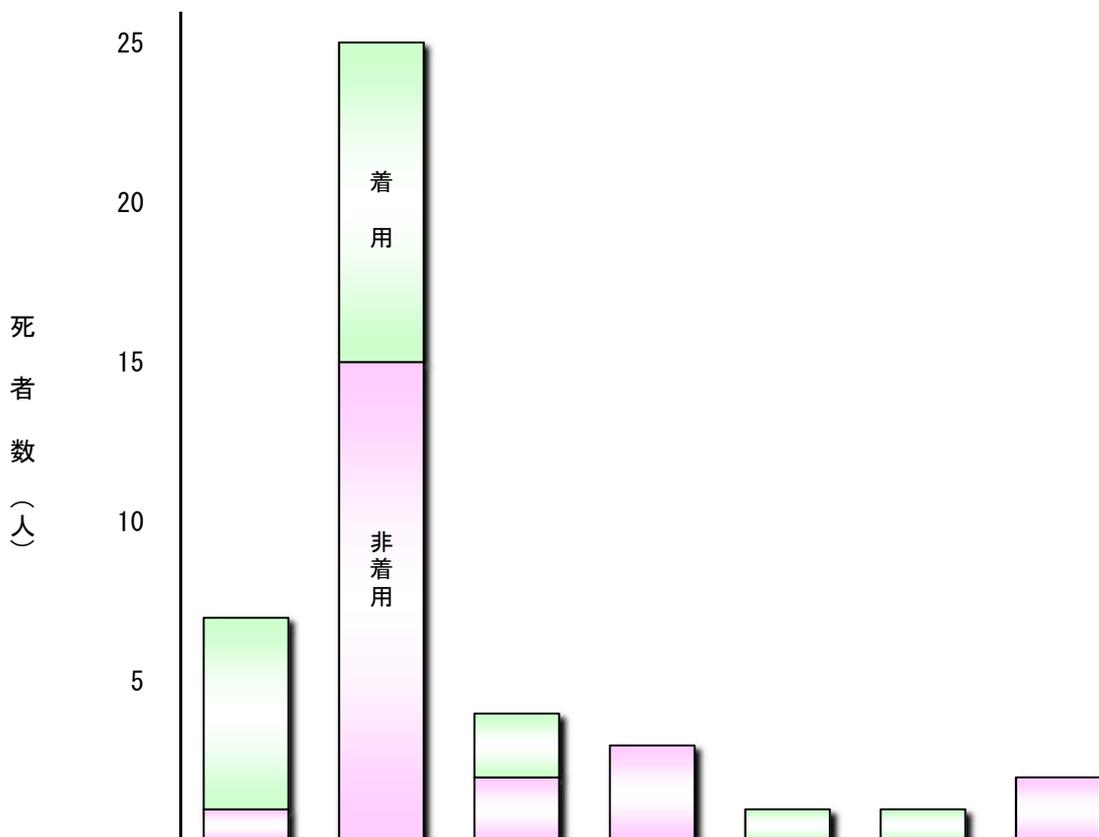
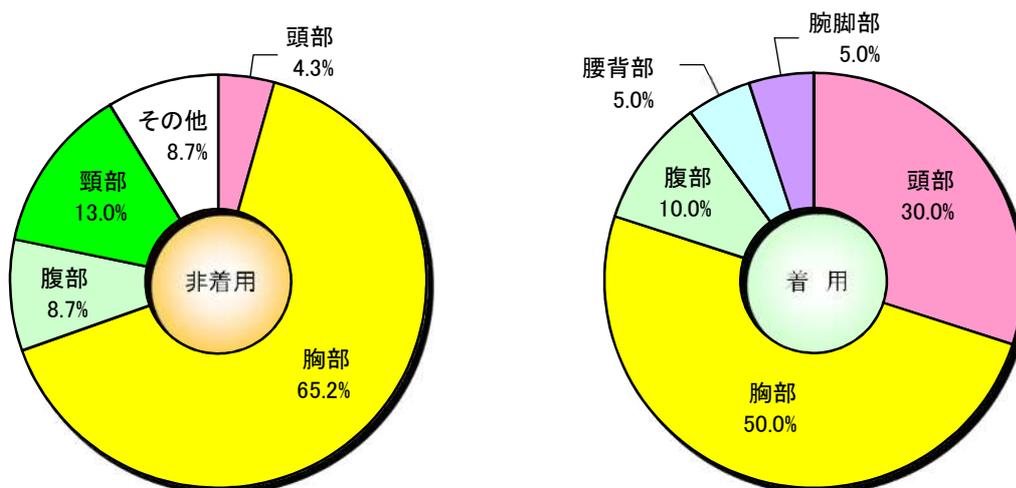


		0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
着用	死傷者数	55	37	62	559	742	680	700	698	942	669	263	119	5,526
	死者数	1		1	4	3	3	1	3	1	2	1		20
	構成率 (%)	83.3	88.1	91.2	96.4	95.3	96.0	94.6	97.6	96.7	95.8	93.6	89.5	95.5
非着用	死傷者数	11	4	6	21	34	28	38	17	29	28	12	14	242
	死者数	1		4	3	3	1	2		2	3	1	3	23
	構成率 (%)	16.7	9.5	8.8	3.6	4.4	4.0	5.1	2.4	3.0	4.0	4.3	10.5	4.2
着用不明	死傷者数		1			3		2		3	1	6		16
	死者数													
	構成率 (%)		2.4			0.4		0.3		0.3	0.1	2.1		0.3
死傷者合計		66	42	68	580	779	708	740	715	974	698	281	133	5,784

※1 「死傷者数」とは、小型特殊車等を含む四輪車乗車中の全ての死傷者をいい、同乗者を含む。  
 ※2 「死者数」は内数である。

#### 4 主な受傷部位・着用有無別死者数

非着用者は「胸部」の損傷が65.2%と最も多く、次いで「頸部」となっています。  
着用者は「胸部」の損傷が50.0%と最も多く、次いで「頸部」となっています。



		頭部	胸部	腹部	頸部	腰背部	腕脚部	その他	合計
着用	死者数	6	10	2		1	1		20
	構成率(%)	30.0	50.0	10.0		5.0	5.0		100.0
非着用	死者数	1	15	2	3			2	23
	構成率(%)	4.3	65.2	8.7	13.0			8.7	100.0
着用不明	死者数								
死者数合計		7	25	4	3	1	1	2	43
構成率(%)		16.3	58.1	9.3	7.0	2.3	2.3	4.7	100.0

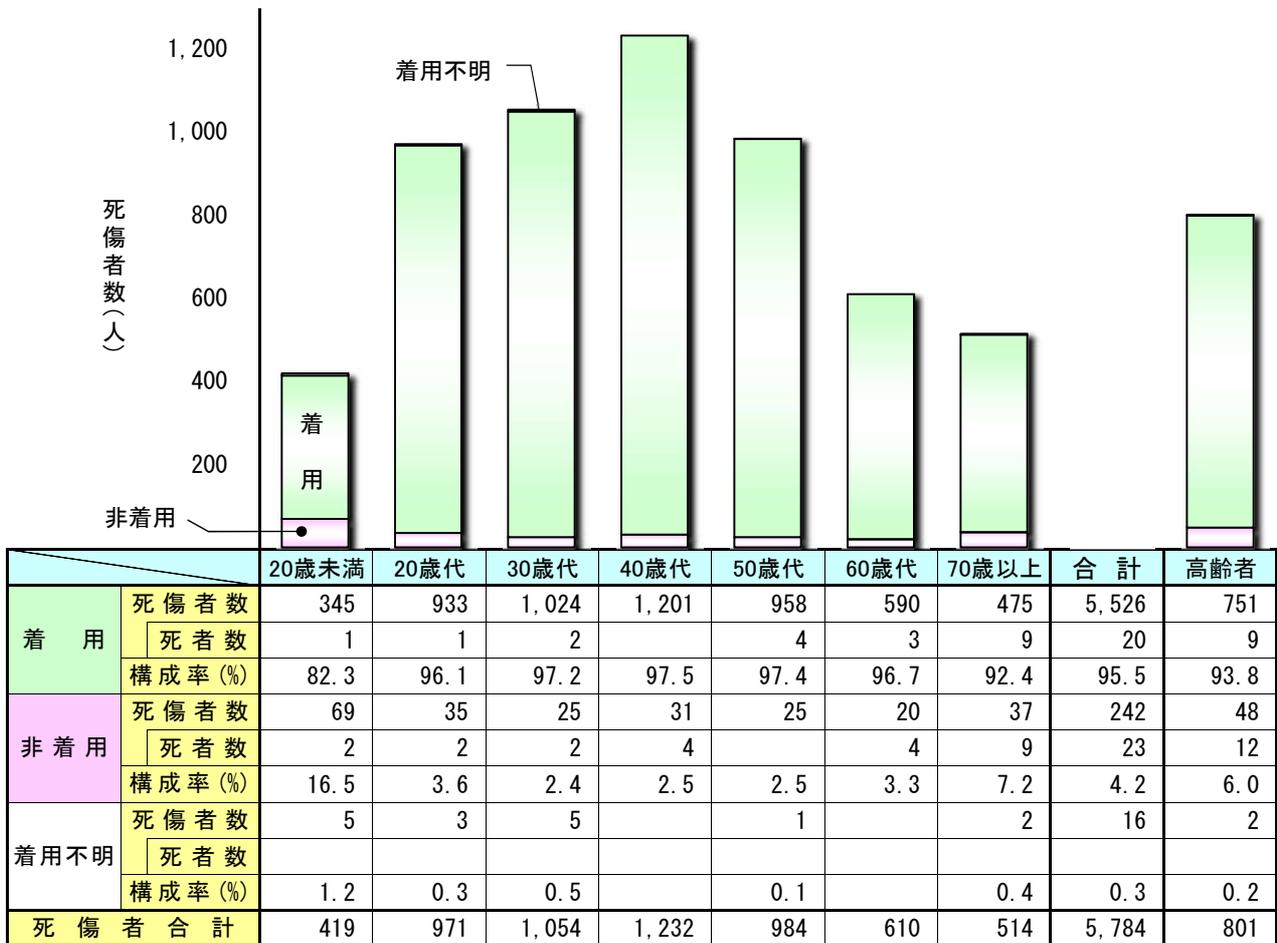
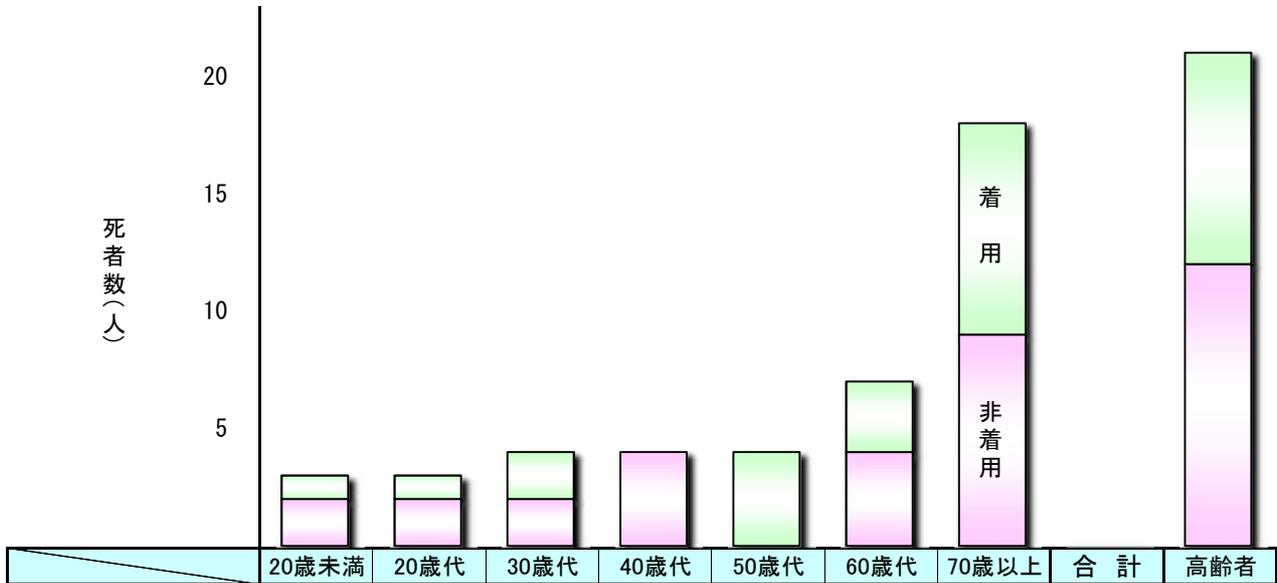
※1 「死者数」とは、小型特殊車等を含む四輪車乗車中の全ての死者をいい、同乗者を含む。  
2 上部円グラフに「着用不明」は含まない。

## 5 年齢層別着用状況

死者数の非着用は「70歳以上」が最も多くなっています。

死傷者数の着用別では、着用は「40歳代」、非着用では「20歳未満」が最も多くなっています。

着用者構成率では「40歳代」が最も高く、「20歳未満」が最も低くなっています。



※1 「死傷者数」とは、小型特殊車等を含む四輪車乗車中の全ての死傷者をいい、同乗者を含む。

※2 「死者数」は内数である。

※3 「高齢者」は65歳以上で、内数である。

6 警察署別シートベルト着用状況

非着用の死傷者数では、「水戸警察署」が最も多く、次いで「つくば警察署」・「石岡警察署」の順となっています。

着用者構成率では、「大子警察署」が最も高く、「太田警察署」が最も低くなっています。

	四 輪 車 乗 車 中														
	死 傷 者 数														
	死 者 数														
	順	着用	順	非着用	着用不明	合計	着用者構成率 (%)	順	着用	順	非着用	着用不明	合計	着用者構成率 (%)	
水戸	1	879	1	24	3	906	6	97.0	2	2	6	1	3	6	66.7
笠間	11	200	14	7	1	208	10	96.2							
ひたちなか	4	329	14	7		336	4	97.9	4	1			1	1	100.0
那珂	20	97	27	1		98	2	99.0			6	1	1		
大宮	25	70	22	3		73	12	95.9							
太田	26	54	12	9		63	28	85.7	4	1			1	1	100.0
大子	28	20				20	1	100.0							
日立	5	276	10	10	1	287	9	96.2			6	1	1		
高萩	18	102	19	4		106	8	96.2	2	2			2	1	100.0
鉾田	21	96	25	2		98	3	98.0	4	1			1	1	100.0
鹿嶋	19	100	10	10		110	27	90.9	4	1	6	1	2	8	50.0
神栖	13	184	14	7	4	195	20	94.4			6	1	1		
行方	23	77	18	5		82	23	93.9			6	1	1		
竜ヶ崎	15	123	17	6		129	18	95.3	4	1	6	1	2	8	50.0
牛久	9	226	7	11		237	17	95.4	4	1	6	1	2	8	50.0
稲敷	16	119	22	3		122	5	97.5	4	1			1	1	100.0
土浦	3	459	4	19	1	479	13	95.8	4	1	6	1	2	8	50.0
石岡	7	273	2	22		295	25	92.5	4	1	1	3	4	16	25.0
つくば	2	460	2	22		482	16	95.4	1	3	2	2	5	7	60.0
筑西	10	202	5	13		215	22	94.0	4	1	2	2	3	14	33.3
下妻	17	114	22	3	1	118	7	96.6							
桜川	27	44	25	2		46	15	95.7	4	1	6	1	2	8	50.0
結城	22	94	19	4	2	100	21	94.0							
常総	11	200	12	9		209	14	95.7							
古河	6	275	7	11		286	10	96.2	4	1	6	1	2	8	50.0
境	14	135	7	11	2	148	26	91.2			2	2	2		
取手	8	244	5	13		257	19	94.9			6	1	1		
高速隊	24	74	19	4	1	79	24	93.7	4	1	2	2	3	14	33.3
合計		5,526		242	16	5,784		95.5		20		23		43	46.5

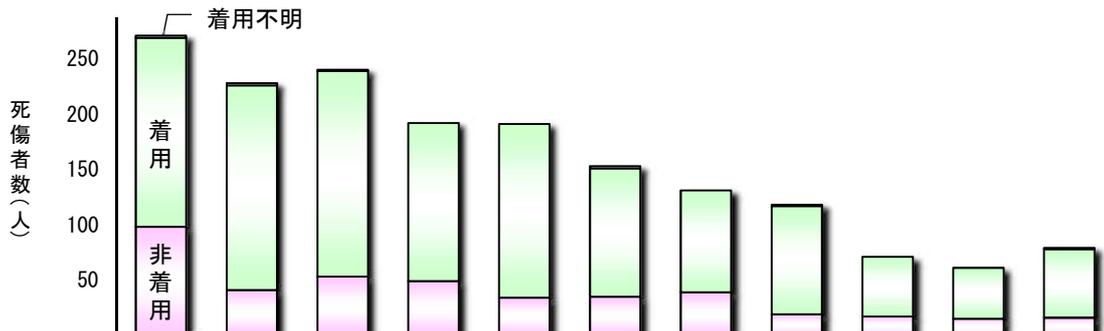
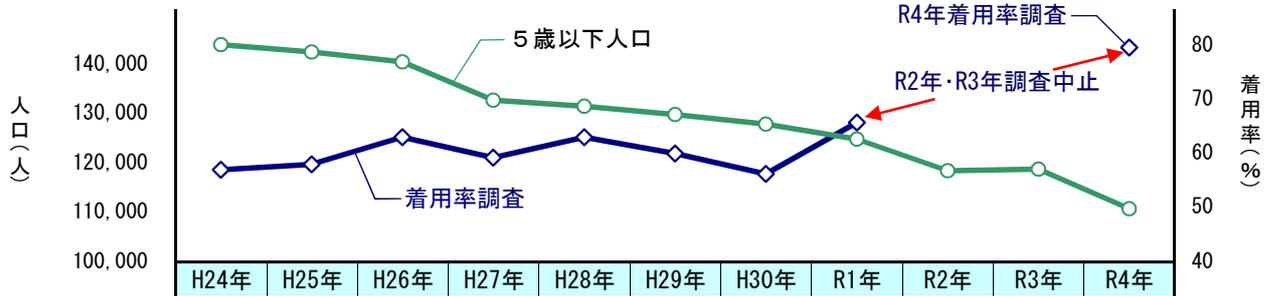
※1 表内順位のうち「死傷者数」、「死者数」は数値の多い順、「着用者構成率」は率の高い順とした。  
2 「死者数」は内数である。

## 7 6歳未満幼児のチャイルドシート着用別死傷者数

### (1) 推移(平成24年～令和4年)

令和4年のチャイルドシート着用率は過去最高率となり、全国順位は15位でした。※4

チャイルドシート非着用の死傷者数は減少傾向で推移し、令和3年は統計資料の残る平成2年以降で最少となりましたが、令和4年は増加しました。



		H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
死傷者数	着用	171	185	186	143	157	116	92	98	54	46	62
	うち死者										1	
	構成率(%)	63.1	81.1	77.5	74.5	82.2	75.8	70.2	83.1	76.1	75.4	78.5
	非着用	98	41	53	49	34	35	39	19	17	15	16
	うち死者	1				1						
	構成率(%)	36.2	18.0	22.1	25.5	17.8	22.9	29.8	16.1	23.9	24.6	20.3
着用不明		2	2	1			2		1			1
合計		271	228	240	192	191	153	131	118	71	61	79
着用率調査	茨城	56.8	57.8	62.8	59.0	62.8	59.8	56.0	65.5	※4	※4	79.4
	全国順位	24位	27位	24位	33位	25位	32位	41位	31位	※4	※4	15位
	全国平均	58.8	60.2	61.9	62.7	64.2	64.1	66.2	70.5	※4	※4	74.5
5歳以下人口		143,853	142,376	140,318	132,566	131,299	129,666	127,699	124,620	118,241	118,555	110,508

※1 対象は、四輪車乗車中の死傷者数のうち、年齢が6歳未満の幼児とした。

2 死者数で内数である。

3 チャイルドシート着用以外(大人着用、非着用)は、一括して「非着用」に計上した。

4 「着用率」はJAFと警察の合同調査結果で、全国順位は着用率の高い順とした。ただし令和2年・3年は新型コロナウイルス感染症の影響により調査中止。

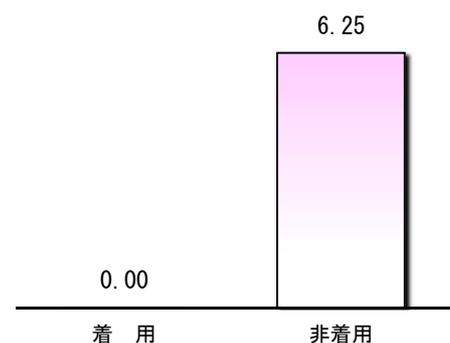
5 5歳以下人口は県統計課資料(各年10月1日現在)による。

### (2) チャイルドシート着用有無別死傷者数

着用者の死亡・重傷者は発生がなく、非着用者の死亡や重傷となる率(死亡・重傷率)は、6.25と前年(6.67)と同様高い比率となっています。

死亡・重傷率

		死傷者数					
		死者数	死傷者数		小計	合計	構成率(%)
			重傷者数	軽傷者数			
死傷者数	非着用		1	15	16	16	20.3
	着用			62	62	62	78.5
	着用不明		1		1	1	1.3
	合計		2	77	79	79	100.0
死亡・重傷率	非着用	6.25	R3年	6.67			
	着用	0.00		2.17			



※ 「死亡・重傷率」= (死者+重傷者数)÷死傷者総数×100